

介護のことばに対する 「やさしい日本語」からのアプローチ

一橋大学国際教育交流センター教授 庵 功雄

ISAOIORI@COURANTE.PLALA.OR.JP

[HTTP://WWW12.PLALA.OR.JP/ISAOIORI/](http://WWW12.PLALA.OR.JP/ISAOIORI/)

1. はじめに

—外国人の労働力に支えられている日本—

・現在の日本は既に外国人の労働力に支えられている

外国人依存度、業種・都道府県ランキング

(日本経済新聞電子版2019.3.18更新)

→外国人受け入れ政策(移民政策)が必要

→理想とする30年後の日本像(「30年後の日本を「日本人」と「外国人」が共同で作る」)を念頭に、外国人受け入れに関わる言語問題の解決を目指す(庵2020)

→「やさしい日本語」(庵2016)

2. 介護と外国人

- ・介護分野では、人手不足から、外国人労働力が求められている
- ・→(特に非漢字圏からの受け入れの場合)日本語習得に関わる障壁を下げる必要がある
 - 日本語教育の方策を検討する必要性
 - 本シンポジウムのテーマ

3. 外国人介護者に求められる日本語能力

- 話す → 介護対象者との会話
 - 聞く → 介護対象者との会話、施設内での指示の理解
 - 読む → 介護記録の理解、諸指示の理解
 - 書く → 介護記録の記入
- → 限られた時間内で行う以上、優先順位をつける必要がある
 - → エディターの作成を通して、「書く、読む」の負担軽減を目指す

4. 言語的障壁を低くするために必要なこと

- ・日本語を非漢字圏の学習者から見た場合、漢字が習得上の最大の障壁になる(庵2018)

→そのことを念頭に、言語的障壁を低くするために必要なことを考える

→日本語教育、日本語学の社会貢献(庵2021近刊)

4.1 発想の転換

- ・これまでの外国人介護者に対する日本語教育
 - 4技能を総合的に伸ばす
 - 時間が限られている以上、優先順位付けが必要
 - Cf. 看護師国家試験(岩田・庵2012)
 - 日本語教育における発想の転換の必要性

4.2 習得対象に直接働きかける

- 発想の転換の具体案
 - 読む→介護記録の理解、諸指示の理解
 - 書く → 介護記録の記入
- このうち、「介護記録」の部分を自動化し、これらに関する学習負担を軽減する
- 生まれた時間を「話す、聞く」の訓練に回す
- 本プロジェクトの目的(の1つ)

4.3 公的文書の場合

- ・同様の発想の転換は公的文書の場合にも
- ・公的文書の書き換え(庵・岩田・森2011)

→横浜市との協働

- ・公的文書のわかりやすさにとって、日本語学的観点からの制限(文法、語彙、表記)よりも有効だったのは...

→1つの情報をA4・1枚(字数、フォント限定)に収める

小学校6年生ぐらいの読者を想定する(「週刊こどもニュース」)

5. 「介護記録作成支援エディター(仮称)」について

- 発想の転換の具体案
 - 読む → 介護記録の理解、諸指示の理解
 - 書く → 介護記録の記入
- このうち、「介護記録」の部分を自動化し、これらに関する学習負担を軽減する
- 介護記録作成支援エディター(仮称)(以下、エディター)
- 実物は後ほどの中島発表で

5.1 実際のテキストから

・作成すべきテキスト(実例は手書き)

入所者id	日付	時間	
002	0510	0655	吸引行なう。淡白色粘稠痰少量ひける
002	0510	0700	ホールへお連れする
002	0510	0740	朝食介助にて、主食8割副食8割水分100ml。栄養ゼリー1/2量摂取される。痰がらみ、みられる。
002	0510	1040	居室にてジュース召し上がる。ムセ込み、みられたため100ccで終了する。
002	0510	1140	吸引行なう。淡白色痰カテ2本分ひける。
002	0510	1200	昼食、ホールベット対応にて介助し、10/8召し上がる。

5.2 「エディター」で何を行おうとするのか

- ・エディターで可能になること

＜特徴＞ 介護記録に必要な情報を入力すれば、介護記録が自動生成される

＜利点＞ ・介護記録を「記入する」必要がなくなる（「書く」の負担軽減）

- ・介護記録を理解するための検索ができる

5.3 双方向の変換

・「エディター」の検索機能

<介護の日本語> → 「やさしい日本語」

(例) 居室にてジュースを召し上がる

→ 部屋でジュースを飲みました

<介護の日本語> ← 「やさしい日本語」

(例) 痰がらみあり ← のどにたんがありました

5.4 日本語学習の効率化に向けて

- ・＜介護＞→「やさしい日本語」

介護で使われることばの意味を理解することができる

- ・＜介護＞←「やさしい日本語」

介護記録に必要な内容を観察できていれば、それを自動的に介護記録として作成できる

→複雑(かつ、汎用性が少ない)文法、語彙の知識を習得していない段階でも介護の実務に当たることができる

→日本語学習の効率化

6. 今後の課題

- ・現時点では「エディター」の精度はまだ十分ではない
- 来年度中に、ある程度実用化に耐える精度に高めるとともに、試用を行い、可能な限り、ホームページ上で公開する
- ・以下、それ以外の課題を述べる

6.1 「定訳」を決める

- ・介護用語に関する「やさしい日本語」の定訳を決める

Cf. 横浜市との協働事業

<https://www.city.yokohama.lg.jp/lang/residents/ej/daiji/kijunej.html>

6.2 介護記録に必要な項目を決める

- ・介護記録を作成するために必要な項目の選定
(例) 日付、入所者、時間、飲食物摂取量、介護動作...
 - 日本語学観点と介護的観点
 - モニター募集

6.3 日本語教育における発想の転換

・介護分野だけでなく、外食チェーン店のマニュアル作成エディター(仮称)も含め、

何を学ぶ(必要がある)か

それをどう学ぶか

を決め、それをコンピューターベースな手法で支援することで、目的に合った日本語教育のコースデザインを可能にする

→日本語教育における発想の転換

7. おわりに

- ・本プロジェクトの目的
- ・30年後の日本を「日本人」と「外国人」がともに作っていくという理念のもと、
- ・外国人受け入れ政策における言語(日本語)に関わる障壁を少なくすることを目指す
- ・今回のシンポジウムでは、そのうち、介護記録の自動生成に関わるエディター作成に関わる理念を紹介する

参考文献

- 庵 功雄(2016)『やさしい日本語』岩波新書
- 庵 功雄(2018)「日本語教育における漢字教育に求められるもの」『ことばと文字』10、日本のローマ字社
- 庵 功雄(2020)「これからの日本社会とくやさしい日本語」(1)『季刊行政相談』166、全国行政相談委員連合協議会、<https://www.zensoukyou.or.jp/topics/no166/sp02.pdf>
- 庵 功雄(2021近刊)「日本語教育、日本語学の社会貢献—ろう児に対する日本語教育を例に—」『多元文化交流』13、台湾東海大学
- 庵 功雄・岩田一成・森 篤嗣(2011)「「やさしい日本語」を用いた公文書の書き換え」『人文・自然研究』5、一橋大学
- 岩田一成(2016)『読み手に伝わる公用文』大修館書店
- 岩田一成・庵 功雄(2012)「看護師国家試験のための日本語教育文法 必修問題編」『人文・自然研究』6、一橋大学

ご清聴ありがとうございました
